

ふる〜ぶ〜 Fleuve

「ふる〜ぶ」はフランス語で海にそそぐ大河のことです
ひと、まち、自然、歴史、風景、吉野川をとりまく様々な表情をみなさんにお伝えします

VOL. **77**
2006/7



1 【特集】
吉野川アラカルト

吉野川と竹林

どうして吉野川沿いには、
こんなに竹林があるんだろう。

3 吉野川いまむかし
穴吹橋編

4 ふる〜ぶ編集部がおじゃまします
ホテルを通じての環境学習
「西麻植小学校」

今月の表紙イラスト「四国のみずべ八十八カ所」
鳴門海峡

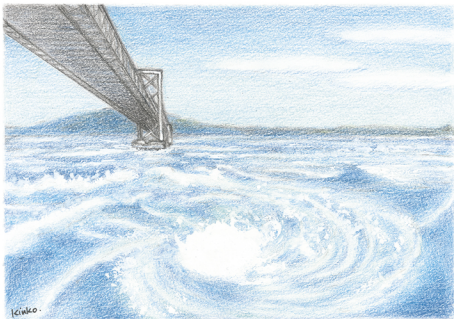
5 ふる〜ぶめいと通信
桑の実
ボンパバイク

6 Ra♪Ra♪Ra♪エッセイ
夏対策(その一)

ふる〜ぶインフォメーション
7月は、河川愛護月間・7月7日は川の日
平成18年度 美しい山河図画展開催

7 よりよい吉野川づくり〈第14回〉
「吉野川水系河川整備計画【素案】」に対する
ご意見募集のお知らせ

ふる〜ぶひ・る・ぼ…編集後記・プレゼント



吉野川と竹林



吉野川沿いには多くの竹林が残されています。

「どうして竹林がこんなにあるんだろう?」と思ったことはありませんか。

今回は、吉野川にまつわる竹名人にお話を伺いながら、竹の活用の可能性について学びました。

吉野川流域の竹林の歴史

藩政時代、財政的な理由などにより、堤防を築くことが困難であるという理由などから、徳島藩は、洪水時の水防竹林として吉野川沿いに竹藪の植え付けを推奨しました。

竹の地下茎は、からみあって繁茂するという特徴があり、地盤を強くし水による浸食から川岸や堤防を守ることができます。洪水により、川が氾濫した場合でも、家屋や田畑へ浸入する水勢を削ぎ、岩や小石が入ることを防ぐなど、家屋や田畑を守る役割を果たしました。

昭和2年(1927)に竣工された吉野川第一期改修工事により岩津(阿波市)より下流には一部を除いて堤防が築かれたことから、水防竹林は、水を防ぐという大きな役割を終え、伐採されたものも多いのですが、岩津より上流には、多くの竹林が残っています。

水防という役目だけではなく、竹を利用した産業も発展しました。ものさしや和傘、十両以上の相撲力士になると持つことを許される明荷(化粧回しなどの身の回り品を入れるもの)など、全国屈指の産地として知られていました。故三好美明氏が作った明荷



は、大相撲アメリカ巡業の際には、当時のアメリカ大統領レーガンにお土産として渡されました。

現在も風光明媚な吉野川流域の竹林の竹は、竹細工などの伝統産業の材料として使われています。

国土交通省では、環境学習や自然体験など、水辺での活動を充実したものにするための整備を行う「水辺の楽校プロジェクト」を実施しており、吉野川流域では「山川バンパーパーク」、「ぶぶるパークみかも」がすでにオー

ブンし、多くの人々に利用されています。また、国土交通省徳島河川国道事務所では平成17年1月から平成18年2月にかけて「吉野川河道内樹木管理手法検討委員会」を開催し、竹を含む樹木の管理手法の方法などについても検討を重ね、未来に向けてよりよい吉野川となるように様々な取り組みを行っています。

今回はふる〜ぶが会った竹名人にお話をうかがいました。

佐藤さんは、名西部石井町の藍染老人会のメンバーとともに、各地で小学生などを対象に竹細工教室を開業。道の駅で販売されている力二の竹細工を見て「これなら作れる!」と思い、約7年ほど前から竹細工を作り始めました。吉野川流域の竹のいいところは「節と節との間が長い」こと。節が長いと、細工にも長いものが使えます。竹細工の魅力は「自

分の発想で作れるのがおもしろい、人にあげたら喜んでくれるところ」にっこり。山川バンパーパークの竹は佐藤さんのお気に入りです。



佐藤 さん



吉野川の竹を利用した「木舞に会い」
木舞—木造建築の工法。真竹・男竹・女竹・しの
竹などを椅子状に組んで、この上に
瓦を塗りつける。

NPO法人美馬体験交流の会理事長の
田中義美さんは、多くの竹林が残る美
馬市に水辺の楽校が再来年完成する
のを前に、どのように水辺空間を活用
していけばいいの、NPOとしてさま
ざまな案を提案中。地元の竹名人たち
と協力して、親子を対象に竹馬や、竹と
んぼ講習会を実施。「水防竹林として
使われていた竹。河川敷の竹林をテー
マにして、町を創っていきたい。忘れ

ようとしている竹林
を忘れられないようにし
ていきたい。竹は自然そ
のもの。やわらかくて、やさ
しくてきれい。生活に取り入
れると、心も豊かになる。竹を
利用した町づくりをみんなと協
力して行っていきたいです」
竹林を利用した町づくりがこれか
らすすめられていきます。



田中義美さん

「ふる～ぶめいと」の長江順次さんは、
ソーシャルワーカーという職業柄、思
者さんと一緒にもの作りを行う機会も
多く、趣味と実益をかねて香川県に
ある「竹の学校」に半年間通い、竹
の生態から始まり、竹を
使ったモノづくりを勉強。
「竹の魅力はたけのこ
として食べられる。木舞と
いったように建築の素材、イ
ンテリアや趣味にも使える。
焼いても竹炭になる。こん

なに幅広い用途で使える素材ってな
いですよ。竹は魅力的です」
趣味としても尺八や笛ぼうき、正月飾
りなどを作って、生活に取り入れてい
ます。



長江順次さん



長江さん
の作品



お知らせ

8月18日(金)～20日(日)まで、徳島市
のシビックセンターのギャラリーで「ふ
る～ぶ展」を開催します。期間中のい
ずれか1日に長江さんによる「竹細工
教室」を計画中です。詳しい日程は次

号のふる～ぶを通じて告知しますので
是非ご参加ください。また、「竹を使っ
たこんなイベントがあったら参加したい、
こんな竹細工を作ったら楽しいのでは?」
等いろいろな情報をお寄せください。



佐藤さん
の作品



吉野川 いま むかし

このコーナーでは、
吉野川の今と昔を紹介し、
過去をみつめ、
未来の吉野川を創造します。

第2回

穴吹橋編



〔所蔵〕宮田磯二さん

ふる〜ぶVOL10に一度掲載した写真なのですが、古く貴重な写真のため、
再掲載させていただきます。

これは、昭和3年4月22日、旧穴吹橋開通式での宮田家3世代渡り初め。
向かって左側が磯二さんのご両親です。同じ家からの3世代渡り初め。
この日は、徳島市内から料理人を呼び、たくさんの方を招待したそうです。

昔



〔所蔵〕増田照夫さん

増田照夫さんは、高松市出身の天才といわれた橋梁設計技術者、増田淳の甥にあたる方です。ふる〜ぶVOL63で特集を行いました。増田淳は、アメリカの橋梁設計会社に勤務後、帰国。橋梁の設計、監督を主な業務とするコンサルタント会社を設立。地方自治体の嘱託技師として多くの橋を設計しました。徳島県でも、吉野川橋（古川橋）、穴吹橋など、全国を代表する橋を設計しました。

昔

この写真は、昭和3年1月18日の
架橋工事中のところです。



〔所蔵〕真鍋幹雄さん



昔

穴吹橋といえば、赤い色がシンボルカラー。
この写真は、解体工事はじまる
直前のものと思われます。

今

現在の穴吹橋の場所は、旧穴吹橋より、
100mほど東側に移動しています。



今

現在、旧穴吹橋のあった場所は、
ふれあい橋となっています。



ふる~ぶ 編集部が おじゃまします!

西麻植 小学校

「わあ〜きれい。すごいなあ」
あちこちであがる子供たちの歓声。
6月4日、飯尾川の上流(通称唐谷
川)で、西麻植小学校のホタルの
観察会が開催されました。

2003年から開催されているこの観察会。昨年は、
台風のため、幼虫が流されてしまい見ることができな
かったため、喜びもひとしおのよう。校長先生、教頭先
生をはじめ、集まった保護者や子供たちは約100名。
何度か観察会に参加した子供たちもいるものの、実
際に飛んでいるのを見たことのない子供たちもいて、
初めての幻想的な世界に酔いしれていました。また、
最近では、保護者の方も実際に飛んでいるホタルを見
たことがある人も少なくなっているそうです。



ホタルを通じての環境学習



由のひとつではありますが、昭和22、3年
頃に美しい江川公園の異常水温現象で、冬
に水蓮の花が咲き乱れホタルが飛ぶという、全国的に
も非常に珍しい現象がありました。新聞にも載ったこ
の珍しい出来事を、先生は校章にデザインしました。

これらのことから、西麻植小学校とホタルとの関わり
は深く、ホタルを通じての環境学習も、今年で5年目
となりました。ホタル観察会の前週の金曜日6月2日には、
ホタルの保護飼育や、EM菌を使って川の浄化に取り組
んでいる西麻植青年会館、西麻植ライオンズクラブの皆
さんをゲストティーチャーに迎えて、ホタルの一生や、ホ
タルがなにを食べて生きているか、ホタルの光はオス
からメスへのラブコールであることなど、おもにホタル
の生態について、五年生が金山嘉久正さんの講義を聴
きました。この日はじめてのホタルの授業に、子供
たちは、目を輝かせて取り組んでいました。

まだまだ今年の学習は、はじまったばかりですが、
五年生担当の板垣先生によると、今後は、ホタルの養
殖にも取り組んでいきたいとのこと。「今日きて
いただいた先生方にも、まだまだたくさん教え
ていただきたいです」とおっしゃっていました。
ホタルは、美しい水がある場所にしか棲めま
せん。ふるさとにたくさんさんのホタルが飛ぶために、
自分たちは、どうしなくてはいいかな。子供たちの学習は、
いま始まったばかりです。



月の表紙イラスト 四国のみずべ八十八カ所 鳴門海峡

四国地方整備局では、21世紀に残し、地域が誇る
ことのできる四国のみずべ空間を認定する「四国
のみずべ八十八カ所」を平成13年9月から、1年間
にわたって募集し、平成15年に決定しています。ふ
る〜ぶでは、西山政子さんによる表紙イラストにて
「四国のみずべ八十八カ所」をご紹介します。



徳島県 鳴門 鳴門海峡 西山政子 撮影

徳島の玄関口である鳴門。鳴門海峡では、潮
の干満時に渦潮が発生します。全国的にも有
名な観光地として知られ、渦の大きいものでは
20mに達するものもあります。観覧船や、兵
庫南あわじと徳島を結ぶ、大鳴門橋の
橋桁空間に設置された遊歩道「渦の道」から
もダイナミックな渦潮をみることができます。



四国のみずべ八十八カ所の詳しい情報は <http://www.skr.milt.go.jp/kasen/mizube88/>



「ふる〜ぶめいと」は、
吉野川が大好きな
人たちの集まりです。

「ふる〜ぶめいと」の活動は、吉野川や吉野川流域に関する身近な情報を「ふる〜ぶ」に提供することにより、吉野川に親しみや、関心を持っていただいて、吉野川ファンの輪を広げていただくことを目的にしています。



「桑の実」 つるぎ町 大塩邦光さん

半世紀前まで吉野川北岸の段丘地では、養蚕が盛んでした。段丘地帯では、吉野川が眼下に見えながらも、水の便には恵まれず、水をあまり必要としない桑畑が多くありました。

現在では、放置された桑は大木になり、5月下旬から6月上旬には、たくさん桑ふぐりをつけます。桑自身は、現

在では利用価値がありませんが、60代以上の方はおやつに桑ふぐりを食べたことを懐かしく思い出すと思います。

わが家では、毎年桑ふぐりを5キロ取って、ジャムやジュースにしています。高級な食品として、重宝しています。



「ポンパバイク」 美馬市 森本 昇さん

ポンパバイクといってもあまり知っている人がいないし、できる人が四国では私がただ一人です。ポンパバイクは昨年売り出された一人乗りの水上自転車です。ニュースで短く紹介されて、それを見て記憶の中に引っかかっていたので、今年になってインターネットで調べて販売元を知ることができました。そして、コンタクトを取って本当に乗れるのかどうか、乗せてもらうことにしたのが5月の連休の事でした。名古屋まで夜行バスで行って、プールで乗り方を教えてもらい約30分でポンパバイクに乗れるようになりました。

徳島に帰ってから乗る場所を探して、穴吹川に続いて鴨島の江川公園にいきました。大学生が乗りたいというので一緒に行って練習をしました。教えてあげたのですがスタートが少し難しく、学生さんは短い距離しか乗る事ができませんでした。江川の公園で散歩する人たちは水の上を人力で走るポンパバイクを不思議そうにみて

いました。江川は広さもポンパバイクにはぴったりで、また行って乗りたい場所のひとつとなりました。

ポンパバイクはどんな乗り物だろうと興味を持ってくれた人もあるかと思います。まずはインターネットでポンパバイクと検索をかけて調べて見てください。ビデオ画像も出てくるので、どんな乗り物かわかると思います。もし、興味を持って乗りたいと思った人は、メールで連絡を下さい。ふる〜ぶで読んだと書いていただくと無料で教えます。

 morimotonoboru@infoseek.jp

ポンパバイクはまだ始まったばかりですが、スポーツとしての発展を望んでいます。ウインドサーフィンがヨットのオリンピック競技になったように、ポンパバイクがボートのオリンピック競技にまで発展する事を夢見ています。



ハーブ農園 からの風

このコーナーでは、「ふる〜ぶめいと」の黒川慶子さんにハーブの楽しみ方を中心に、食と健康、水の大切さなどについて語っていただきます。楽しいレシピなども登場しますよ。

夏対策 その一

暑い夏を乗り切るために、ミントやローズマリー、タイムなど身近にあるハーブを活用してみませんか！

【ミント】

とても作りやすくて、中には「増えて増えて困る。」など耳にする事があるくらいですが、実はハーブの優等生。強い殺菌力や沈静作用があり、心身の疲れを軽減、消化を助け、口の中をさわやかにしてくれます。シングルまたはブレンドティーとしてお茶を楽しんだり、麦茶にも入れてみてください。かだしもできますので、ぜひためてみてください。



【ローズマリー】

「若返りのハーブ」ともいわれているローズマリーは常緑なので、年間を通してフレッシュで利用できます。お茶はもちろんのこと、肉や魚の香草焼き、カレーやシチューなど煮込み料理、ほかに、化粧水や入浴剤、リンスとしても使えます。春に咲いた花も、とても可憐なものでした。

【タイム】

小さくてかわいらしい花が咲くタイムは、見ているだけで癒されるような気になります。私たちの一番なじみのあるコンスタインは、チモール、カルバクロールなどの成分を含み、ピリッとした風味とすばらしい香りを持ち、加えて防腐効果や抗菌作用があるので肉や魚料理によく使われます。タイムの生葉のみじん切り大さじ一をバターやクリームチーズに混ぜ込んだハーブバターやハーブチーズを作って、夏野菜とともに召し上がってください。

また、タイムにしても、とてもさわやかな飲み物になります。又、レモンタイム、オレンジタイムなどシトラス系の香りのタイムは、お菓子やデザートに材料に加えることができます。

次回も、夏対策(その二)として、ハーブソルトやハーブドレッシングについて書きたいと思います。

【黒川慶子さん経歴】

ハーブコーディネーター
坂野町でハーブ農園を営む。
食と健康について、講演も務める。
徳島県草の根推進委員会
上板町草の根推進委員会

ふる〜ぶ INFORMATION

7月は、河川愛護月間 7月7日は川の日

みんなで川に親しみ、川をきれいにしましょう

国土交通省では、河川や水辺に親しみ、理解と関心を高めていただくことを目的に、毎年7月1日から31日までを河川愛護月間と定め、河川愛護活動を実施しています。

吉野川流域一斉水質調査

調査キットをお送りします。申し込み、下記までお問い合わせください。

◆申し込み：7月7日(金)まで。

◆実施日：7月23日(日)吉野川流域すべての川



水生生物調査実施箇所

吉野川の水质をサワガニ、カワガニ、トビガニなどの水生生物の生息状況を調査し、環境評価します。

- 7/24(月) 9:30~12:00 三好郡東みよし町 角の浦大橋上流
- 7/24(月) 14:00~16:00 美馬郡つるぎ町 美馬橋下流
- 7/25(火) 9:30~12:00 吉野川市川島町 学島橋下流
- 7/25(火) 14:00~16:00 阿波市 西条大橋上流

お問い合わせ

徳島市上吉野町3-35
国土交通省 徳島河川国道事務所 地域連携課
TEL 088-654-9175

平成18年度 美しい山河図画展開催

河川の環境保全と河川愛護の意識を高めていただくため、徳島県・高知県の小学生を対象に「美しい山河」をテーマにした図画の展示を行っています。

- 7/21(金)~7/25(火) 早明浦ダムふれあいホール
- 7/26(水)~7/31(月) 道の駅光光ゆうゆう館ギャラリー
- 8/4(金)~8/7(月) 阿南ショッピングプラザピカ
- 8/11(金)~8/15(火) 徳島県立防災センター
- 8/18(金)~8/28(月) 森林公園ゆらぎの森

【主催】

国土交通省 徳島河川国道事務所・那珂川河川事務所・四国山地砂防事務所・吉野川ダム統合管理事務所

「吉野川水系河川整備計画【素案】」に対するご意見募集のお知らせ

四国地方整備局では、6月23日に、吉野川水系河川整備計画【素案】—吉野川の河川整備（直轄管理区間）—を発表しました。この素案は、吉野川の現状と課題、河川工事や河川の維持管理、河川環境の目標など今後20年～30年程度の吉野川の具体的な整備内容を記載しています。

流域住民の方々に参加いただき流域内の6箇所で、「吉野川流域住民の意見を聴く会」を開催し、素案についてご

意見をお聴きします。また、下記ホームページから素案を入手できるとともに、四国地方整備局、徳島河川国道事務所など国土交通省関係機関、四国四県、流域内の各市町村役場で、閲覧できます。

いただいた意見については、できるだけ反映することとし、修正した素案に対し、意見を聴くという過程を繰り返し実施し、吉野川水系河川整備計画（案）を策定します。

吉野川流域住民の意見を聴く会 開催日程

ご意見募集要項

7月8日（土）
14:00～17:00

中流域
美馬市美馬福祉センター
徳島県美馬市美馬町字中原95

7月9日（日）
14:00～17:00

上流域（高知県会場）
土佐町保健福祉センター
高知県土佐市土佐町土居206

7月22日（土）
14:00～17:00

下流域
セントラルホテル鶴島
徳島県吉野川市鶴島町鶴島471-2

7月23日（日）
14:00～17:00

下流域
北島町立公民館
徳島県坂野郡北島町中村字上地23-1

8月5日（土）
14:00～17:00

下流域
徳島県建設センター
徳島県徳島市雷田浜2-10

8月6日（日）
14:00～17:00

上流域（愛媛県会場）
四国中央市福祉会館
愛媛県四国中央市三島宮川4-6-55

意見募集期間

平成18年6月27日（火）～平成18年8月31日（木）

意見送付方法

ご意見は、会議室の受付を窓口とする
下記のコンサルタント会社までお送りください

お名前、お住まい、年齢、性別、「吉野川水系河川整備計画【素案】」に対するご意見、理由、その他のご質問をご記入のうえ、下記のいずれかの方法でご意見を送付してください。なお、素案の閲覧場所には、ご意見送付用のハガキ付ラシを置いてありますので、ご利用ください。

【郵 送】 〒770-8703 徳島市吉野川1-14
いであ株式会社内 吉野川水系河川整備計画 庶務宛

【FAX】 088-655-4763
いであ株式会社内 吉野川水系河川整備計画 庶務宛

【ホームページ】 <http://www.yoshinoriver.info>

【電子メール】 form@yoshinoriver.info

注 意 事 項

- ◆電話によるご意見の受付はいたしませんので、ご了承ください。
- ◆電子メールでのご意見の送付は、テキスト形式としてください。
- ◆いただいたご意見につきましては、お名前を除き、公開する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
- ◆いただいたご意見につきましては、十分検討の上、できる限り吉野川の河川整備計画（案）に反映いたします。
- ◆いただいたご意見につきましては、とりまとめのうえ公開いたします。
- ◆氏名・住所などの個人情報については、適切な方法で厳重に管理し、本目的以外には一切使用いたしません。



よいよい吉野川づくり吉野川水系河川整備計画については
<http://www.yoshinoriver.info>

ふるふ
びるふ



ふるふ
びるふ
竹は、人の心をやさらかにしてくれます。ふるふ～びるふは竹を通じたイベントを模索中です。皆さんのご意見をお待ちしています。（※）

ふるふ
びるふ
今日の取材で木製という言葉を初めて知りました。竹って建築の材料としても使われているんですね。食材やインテリア...いろいろな生活に盛り入れたいと思いました。（※）



成の干支プレゼント

西井町・佐藤さん作成の吉野川の竹を使って作られた成の干支竹組工をプレゼントします。ご希望の方はお夏またはフックスでお送りください。締め切りは7月31日（月）です。



〒771-1156
徳島市応神町
応神東部地13-28
ふるふ～びるふ
竹組工プレゼント係